

2025 年 9 月 競技ゴルフへのお誘い

先日メンバーのKさんがクラブ競技にはまって、また違ったゴルフを見つけたとおしゃってみえました。

『このところ1組4名を集める事が大変で、メンバータイムに1人でエントリーする事が多くなり、そこで知り合ったSさんに誘われてクラブ競技に参加したところ、結構緊張もしましたが、楽しかったんです。

今まで曖昧なゴルフルールで、プレーしていましたが、クラブ競技に参加する様になって、改めてゴルフをいちから見直す事が出来ました。』

改めてゴルフをいちから見直すお話がとてもいい内容でしたのでご紹介します。

当然親しい方々とのゴルフは楽しいものですが、競技ゴルフとなると自分本位のルールでプレーする訳には行きません。

また1日いい緊張感の中でプレーする事も意外と楽しいものです。

Kさんはゴルフの勝負では無く、いかに同伴プレーヤーの事にも配慮しつつ、ゴルフをしたかが大切な事に気づかれたのです。

誰もが自分本位のプレーをせず、HDGP に関係なく同伴者に敬意を表してプレーする。

そんな方と一緒にになったクラブ競技に、格別の心地よさをお感じになったのでしょうか。

ゴルフはミスショットしても幸運やまぐれ当たりで上手く行ってしまう事もあります。

また会心の一打が不運をもたらす事もあります。

中には結果にこだわり、自分本位の言動を繰り返し、気が付くと周りには誰も居なくなってしまったという方も。(当クラブにはそんな方はみえませんが)

その全ての出来事が今日の自分に課せられたドラマと受け止め、最後まで最善を尽くす事が、ゴルファーにとってははるかに大切であり、大きな喜びであると思います。そんな思いを競技ゴルフから気付かれたKさんのお話しでした。



🌸メンバーの春日井久文様の作品を伊藤ギャラリーに飾らせてもらいました



作品ネーム:『夕陽の恵那山を眺める』 HARU

バロー創業者 伊藤喜美様より寄贈して頂いた、ゴルフクラブや絵画などを含めた展示スペース『伊藤ギャラリー』(男性ロッカーの入り口)に、この夏また一つ素晴らしい作品を加える事が出来ました。春日井久文様が恵那峡カントリークラブの為に描いて下さった作品です。夕陽があたる恵那山を眺める女性の後ろ姿がとても素敵です。よく見ると帯は本物の帯生地を使って描かれています。なかなかお目にかかれない『コラージュアート』です。女性の方もフロントにお声がけ頂きぜひお気軽にご覧になってください。